

SHBC

セキュアーハイバックキャリー

いつから	腰すわり～
必要な長さ	ベースサイズ

足ピンや
反り返りの
赤ちゃん向け

活発な赤ちゃんを
安全に高い位置で
おんぶできる巻き方です。

赤ちゃんの肩からお尻まで全体に対角線上に布を広げるため、反り返りやすい赤ちゃんの背中をしっかり支えます。

さらに赤ちゃんのお尻の下で布が交差して脚を通るため、足をピンと伸ばしてしまいやすい赤ちゃんも安定しておんぶすることができます。

手順は、大人の胸の前でひと結びするorしないの2種類あり、赤ちゃんの包み方は同じですが、大人のつけ心地や手順の難易度が変わってきます。状況や好みに応じて選択してください。



背中に乗せる

おんぶで赤ちゃんを背中に移動させる方法は他にもいくつかありますが、SHBCではヒップスクートを選択することで、背中に移動してそのまま巻き方の手順に入りやすいです。



① 布の中央から巻き始めます。



② ボトムレール側に布の余りを寄せて、赤ちゃんを乗せる脚に布を広げます。



③ 布の上に赤ちゃんを乗せます。



④ 布で赤ちゃんの背中と肩を包みます。(タグが赤ちゃんの背中の中央にくるように)



⑤ ボトムレールを引き上げ、赤ちゃんの膝からお尻、反対側の膝を包み込み深くシートを作ります。



⑥ 赤ちゃんを乗せた膝側の布を脇の側の下を通して身体に巻きます。



⑦ 片手で赤ちゃんを支え、反対の手で布を持ちます。



⑧ 布を上方向へ引き締めます。



⑨ 赤ちゃんを支えている手でトップレールを固定します。



⑩ 固定した手を緩めずに、肩の布をまんべんなく引き締めます。



⑪ 肩の布束を、緩まないようにお尻や太ももで固定します。



⑫ 赤ちゃんの肩の近くに布を集めながら、背中側の布を引き締めます。

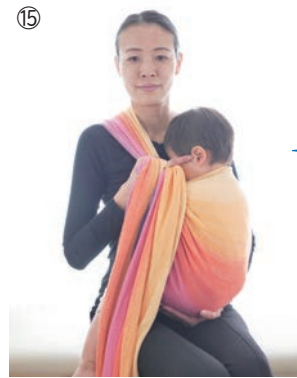
背中に乗せる



⑬ 肩の布、赤ちゃんの背中側の布束を握ります。



⑭ 緩みがあれば再度、丁寧に引き締めます。



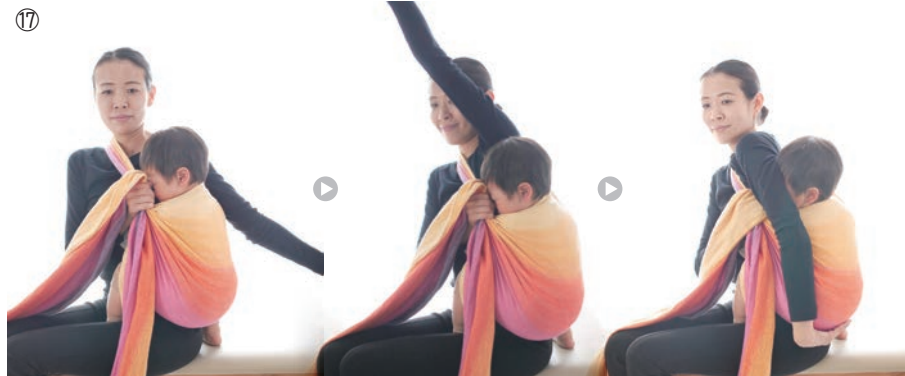
⑮ 片手で赤ちゃんのお尻を抱え、もう片方の手で布束を握ります。



指で頬に触れるくらい、赤ちゃんの顔の近くで束を握ります。布の間に人差し指を入れ、束がひとつにならないように握ります。



⑯ 赤ちゃんを少しずつ背中へ移動します。



⑰ 側面から背面へと移動する時に、大きく腕を回して脇の下をくぐらせ、赤ちゃんのお尻をまたすぐに抱えます。



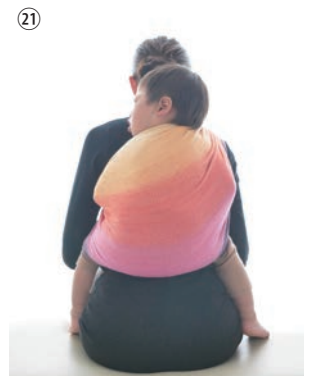
⑱ 赤ちゃんの体重が背中に乗るように前かがみになり、緩みを引き締めながら束を持つ場所を胸の方へずらします。



⑲ 再度赤ちゃんを抱え、背中の中央へと移動させていきます。



⑳ 束をそれぞれの手で持ち、布が緩まないように引っ張りながら赤ちゃんの位置を整えます。



㉑ 赤ちゃんが背中の中央でほどよい高さにいることが確認できたら、

背中に乗せる

②



ワンポイントアドバイス

大人の姿勢に注目

巻き方手順を進める際、大人が少しだけ前屈みになります。お尻を突き出して胸を張るような姿勢を取ることで背中にくぼみが出て、赤ちゃんが背中中で安定します。

布をしっかり持ち赤ちゃんを支えながら立ち上がります。

布を巻く(胸の前でひと結びバージョン)

巻き始めの段階で大人の胸の前で布をひと結びするこのバージョンでは、背中側の赤ちゃんが安定しやすく、最後までゆっくり巻くことができるので、SHBCを初めて巻く方や活発な赤ちゃんにもおすすめです。

①



背中中で赤ちゃんが安定するよう、胸を張ったまま少し前かがみになり、布をわけてそれぞれの手に持ちます。

②



肩からの布を軸として持ち、脇からの布を上重ねます。

③



下からくぐらせてひと結びします。

④



ぎゅっと結び目を引き締めます。

⑤



さらに、布の端から一筋ずつ丁寧に引き締めます。

⑥



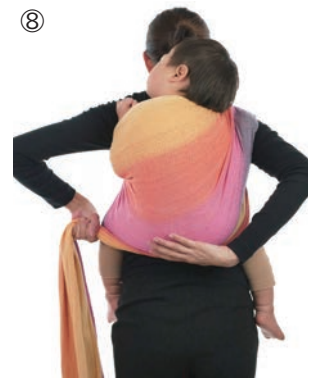
軸として持っていた肩からの布を膝に挟み固定し、

⑦



反対側の布は脇の下をくぐらせて赤ちゃんの膝裏を支えます。

⑧



束のままお尻を深く支え、

布を巻く(胸の前でひと結びバージョン)



⑨ 反対側の脚の下に束を入れ込みます(バンチクロスパス)



⑩ 布を挟み変えます。



⑪ 布を広げます。



⑫ 肩の上に乗せます。



⑬ トップレールとボトムレールを握ります。



⑭ まず、布を持ち上げて赤ちゃんのお尻を包みます。

ワンポイントアドバイス

背中側の布の広げ方

ボトムレールを持ち忘れてトップレールを引きすぎると、赤ちゃんのお尻が包まれずに出てしまうことがあります。鏡を見ながら、背中側で赤ちゃんが包まれていることを確認しながら巻いてみましょう。



⑮ 次に、布を横方向へ引き赤ちゃんの背中全体を覆います。



⑯ 横方向へ引き締め、大きな弛みをとります。



⑰ 片手で肩の近くから緩みをおくり、もう片方の手で引き締めます。



⑱ ボトムレールから順番に引き締めながら、赤ちゃんの脚の近くに布を束ねます。

布を巻く(胸の前でひと結びバージョン)

19



布束は赤ちゃんの脚の下を通します。

20



反対側の膝裏まで布が覆っていることを確認します。

21



赤ちゃんのお尻が深く包まれるようにシートを作ります。

22



膝に挟んでいた布を手にとって

23



2回結びます。

24



完成です。

ワンポイントアドバイス

パスの手順は赤ちゃんに合わせて臨機応変に

束で赤ちゃんの脚を支える布、肩の上から背中に広げる布は、どちらを先に巻いても大丈夫です。

赤ちゃんが反り返りしやすい場合は、11番からの手順を先にすることができずし、脚ピンしやすい場合は説明書の手順がおすすめです。

布を巻く（胸の前で結ばないバージョン）

胸の前で布を結ばないバージョンは、布が平らになり胸への圧迫感が軽減します。
巻き方手順中に脚に挟むなどして布の固定が必要なため、SHBCの手順に慣れてからがおすすめです。



① 布束を引き締めながら握ります。



② 肩からのテールを脚で固定します。



③ もう一方のテールは反対の脇へ



④ 赤ちゃんの膝裏とお尻を束のまま支え



⑤ 脚の下を通します。



⑥ 固定する布束を変えます。



⑦ 布の重なる部分を片手で固定します。



⑧ 片手で布を下から折り返すように肩へかけます。



⑨ 布を肩の上ののせます。



⑩ (テンションを保ちながら) トップレールとボトムレールを握みます。



⑪ 布を広げます。

布を巻く(胸の前で結ばないバージョン)



⑫ 腕を伸ばして布を赤ちゃんの身体に覆いかぶせるように広げます。



⑬ 赤ちゃんの背中全体を布で包みます。



⑭ 横方向へ引き締め、大きな弛みをとります。



⑮ 片手で肩の近くから緩みをおくり、もう片方の手で引き締めます。



⑯ ボトムレールから順番に引き締めながら赤ちゃんの足の近くに布を束ねます。



⑰ 赤ちゃんの膝裏まで布が覆っていることを確認します。



⑱ ボトムに余った布で(赤ちゃんのお尻を包み)シートを作ります。



⑲ 布束は赤ちゃんの脚の下を通します。



⑳ 直立姿勢で立ちます。



㉑ 2回結びます。

ワンポイントアドバイス

脇を通る布束に緩みがあると、肩から肩の布で引き上げられて布同士の交点が首に近くなります。首を圧迫して苦しい際など、布の緩みや交点の位置を鏡で確認して巻き直してみましょう。

下ろし方

布を解き、赤ちゃんを下ろします。巻く時と同様に、両方のテールを手と脚で固定し、空いた手は赤ちゃんを支えます。必要に応じて途中で緩んだ布束は、引き締め直します。背中から赤ちゃんを下ろし、抱っこするまで常に赤ちゃんと密着しています。



① 結び目を解き、



② 布が緩まないように注意しながら



③ 内側の束を膝で挟み背中側のクロスを解きます。



④ 両方の束を結び目が触れる位置で持ち、反対の腕では赤ちゃんのお尻をしっかりと支えます。



⑤ 脇の下に赤ちゃんを回し、



⑥ 腕を回して脇の下をくぐらせて、

脇の下をくぐったらお尻を支えてあげましょう。



⑦ 赤ちゃんが背中から戻ってきたら結び目を解いて布から抱き下ろします。

安全にあちゃんを下ろすために

固結びをほどいたら、布が緩み始めます。赤ちゃんを包む布が緩んでも安全に下ろせるよう、必ず片手で赤ちゃんを支えながら布を解いていきましょう。

